

## 千葉県の30年後の将来像〔概要〕

### 1. 調査の主旨

千葉県はこれまで大きな発展を遂げ、前途洋々だった（成田空港の空港容量30万回化の地元合意、その他交通インフラ整備、アクアライン社会実験成功など）。

しかし、将来を展望すると多くの課題も明確になっている（少子高齢化、医療）。そして東日本大震災・原発事故以降、課題はより明確になっている（人口、産業構成）。

千葉県経済同友会では、40周年記念事業としてこうした課題を明確にすると共に、対応する提言をまとめた。

### 2. 千葉県の現状・主な課題・ポテンシャル

#### (1) 現状（約30年前との比較）

千葉県の主要統計指標及び全国シェアの30年間の推移は以下の通り。

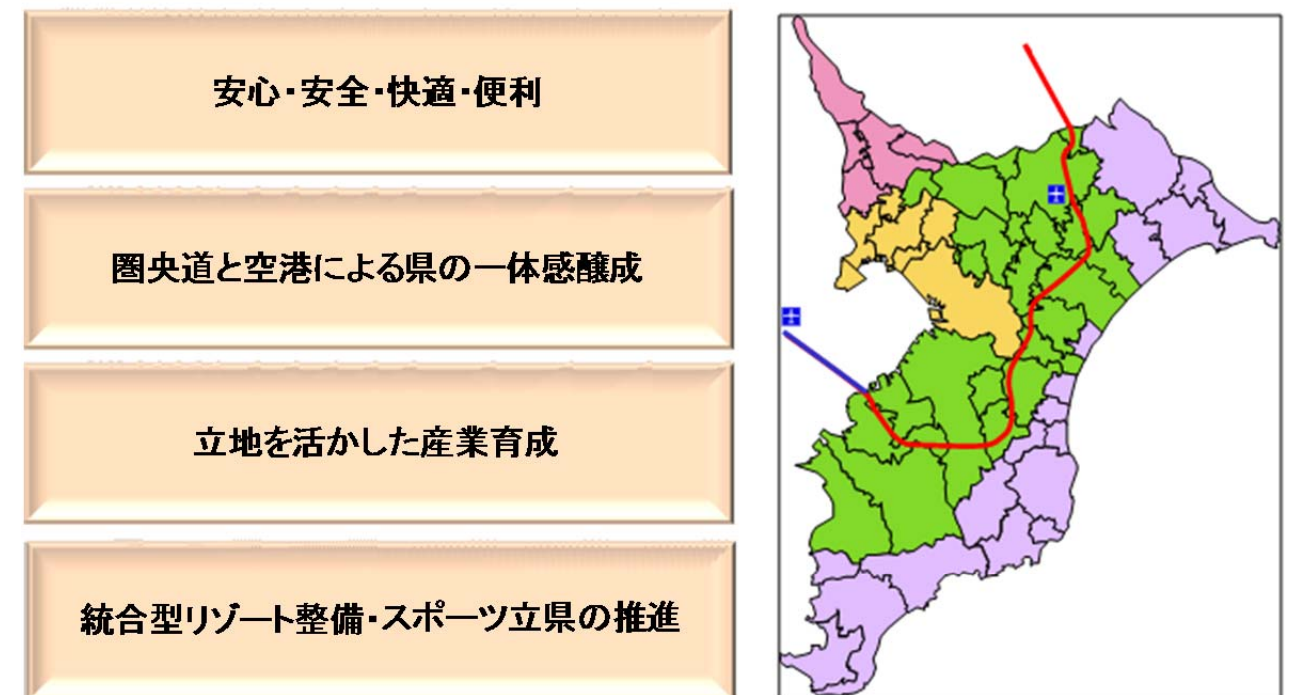
	単位	約30年前		現在		実数増減率(%)	全国シェア増減(ポイント)	
		実数	全国シェア	実数	全国シェア			
人口	人	4,735,424 (1980年)	4.0%	6,211,820 (2011年)	4.9%	31.2	0.8	
県内総生産	億円	77,360 (1980年度)	3.1%	192,090 (2009年度)	4.0%	148.3	0.8	
事業所数	事業所	184,578 (1981年)	2.8%	194,817 (2006年)	3.3%	5.5	0.5	
従業者数	人	1,473,895 (1981年)	2.9%	2,052,521 (2006年)	3.5%	39.3	0.6	
一次産業	農業産出額	4,472 (1980年度)	4.4%	4,048 (2010年度)	5.0%	▲ 9.5	0.6	
	海面漁業漁獲量	372,199 (1980年度)	3.8%	162,634 (2009年度)	3.9%	▲ 56.3	0.2	
二次産業	製造品出荷額等	98,491 (1980年)	4.6%	123,805 (2010年)	4.3%	25.7	▲ 0.3	
	公共工事費	6,645 (1980年度)	4.0%	5,345 (2011年度)	3.4%	▲ 19.6	▲ 0.6	
	住宅着工戸数	67,355 (1980年)	5.3%	41,142 (2011年)	4.9%	▲ 38.9	▲ 0.4	
三次産業	商業年間販売額	55,715 (1979年)	1.6%	123,222 (2007年)	2.2%	121.2	0.6	
	観光入込客数	63,154 (1980年)	-	133,353 (2011年)	-	111.2	-	
	成田空港	航空旅客数	9,144 (1980年度)	-	28,852 (2011年度)	-	215.5	-
		航空貨物量	475,442 (1980年度)	-	1,929,396 (2011年度)	-	305.8	-
地価 (千葉市「住宅地平均価格」)	円	82,800 (1981年)	79,900 (全国1981年)	116,900 (2012年)	110,700 (全国2012年)	41.2	38.5 (全国増減率)	

(出所)各種統計からちばぎん総合研究所が作成。

### (2) 千葉県が抱えている主な課題

- ① 東日本大震災に伴う放射能・液状化・津波被害への対応及びブランド力の回復。
- ② 2011年に人口が初めて減少したことをどう克服するか。
- ③ 成田空港を活用して県内への経済波及効果を高めること。
- ④ 圏央道の早期全線開通及びアクアライン800円の恒久化。
- ⑤ グローバル化の進展に伴う京葉臨海工業地帯の利活用。
- ⑥ 幕張新都心における新たな産業振興。
- ⑦ かずさアカデミアパークへの企業立地の促進（未売却用地：89ha／全体面積278ha）。
- ⑧ 南房総地域の地場産業（農業・漁業、観光産業）の育成。
- ⑨ 急速な高齢化の進行への対応。
- ⑩ 医療のキャパシティ不足への対応（特に都市部）。

### (3) ポテンシャル方向性と地域割



	地域	代表的なポテンシャル
①	東京湾岸地域	東京湾岸地域の産業集積（幕張メッセ／ららぽーとTOKYO-BAY／東京ディズニーリゾート）
②A	アクアライン・圏央道沿線地域	圏央道の全線開通・アクアラインの800円の恒久化
②B	成田空港周辺・印旛地域	成田空港の航空機発着回数30万回化に伴う人流・物流の増加
③	常磐・つくばエクスプレス沿線地域	つくばエクスプレス周辺地域の都市開発及びイノベーション創出
④	銚子・九十九里・南房総地域	南房総地域を中心にした豊かな自然環境及び館山道の4車線化